

| | | | |
|---------------|---------------|----|--------------|
| ○事業所名 | NPO法人HA-HA-HA | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2024年4月1日 | | ～ 2024年12月4日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 43 | (回答者数) 27 |
| ○従業者評価実施期間 | 2024年4月1日 | | ～ 2024年12月4日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 2 | (回答者数) 2 |
| ○訪問先施設評価実施期間 | 2024年4月1日 | | ～ 2024年12月4日 |
| ○訪問先施設評価有効回答数 | (対象者数) | 23 | (回答者数) 4 |

○分析結果

| | 事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|--|---|
| 1 | 訪問支援員に多職種が在籍し、訪問先と連携を図れること。特に教育職、医療職などが在籍していることが特色で福祉、教育との連携を多角的に事業所内連携も含めて行っている。 | 定期的に訪問先の担当の先生方と面談を行い、情報共有や支援の共有化をしている。 | 訪問支援自体に訪問先がメリットを感じていただけるような支援や共同関係を築くためのツールや材料を用意する取組をしたいと考えている。そのために訪問先と同種の専門職、他種の専門職が在籍している強みを強化したい。 |
| 2 | 保育所等訪問支援を補強する形で相談支援専門員が在籍し、支援計画や訪問先だけではなく、ご家庭や病院、その他との連携を図ることが可能。 | 情報共有会や担当者会議に訪問先だけではなく、子どもを取り巻く支援者の多くが集えるように、可能な限り配慮している。 | 就学期などこれから子どもが利用する先との連携を図れるようにしたい。現在はTASPなどを活用し、幼稚園、保育園、子ども園の子どもの様子を学校に伝えるなどの活動をしている。そして難しいところではあるけれども、その先にある書類ベースではない連携ができればと考えている。 |
| 3 | 学校訪問を数多く行っていること。これは教育職経験が豊富な職員が教育委員会や学校と丁寧に関係を築いてきたことが大きな要因であり、学校の先生方とも数多く協働できるようになってきています。 | 定期的な先生方との面談や情報共有、支援の共有だけではなく、子どもの特色に合わせた課題の共有や訪問先への対応などを行っている。 | 訪問先との協働関係をさらに強化して、より具体的な協働作業を行えるように機能強化を図る。 |

| | 事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|--------------------------------------|
| 1 | 訪問専任者が少ない。 | 現状として訪問回数が不足するということはありませんので十分とも言えますが、専任者を増やして機能強化を図っていく必要性も検討課題としています。 | 訪問先との協働関係を強化し、専任者を増やす形で訪問支援の強化を図りたい。 |